

2017 環境シンポジウム

～ 住宅メーカーが先導する 2030 年の住まいと暮らし ～

趣 旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会は、安全・安心で快適な住まいと持続可能な社会の実現を目指し、省エネ・創エネ・環境に配慮した住まいとまちづくりに取り組み、さらにエネルギーをより賢く効率的に利用できる、スマートハウスやスマートシティの普及を推進しています。

本シンポジウムでは、昨年度中間見直しを行った、環境行動計画「エコアクション 2020」の進捗状況を報告するとともに、特別講演、会員各社の先導的な事例紹介を通じて、「環境」という観点から、住宅市場における工業化住宅の魅力を再考いたします。

開催日時

平成 29 年 12 月 18 日 月曜日 13:00～16:45 (受付開始 12:30)

会 場

住宅金融支援機構本店「すまい・るホール」 (東京都文京区後楽 1-4-10)

特別講演

『2030 年の住まいと暮らし－ハウスメーカーへの期待－』

早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授 田辺 新一 氏

【講演要旨】

2030 年に向けて住宅や住まいがどのように変化するかを、エネルギー、室内環境などの面から解説します。

低炭素社会に向けた世界的な動向、研究室で行ってきたエネマネハウスに関する研究、15 年ぶりに厚生労働省から新たに指針値が提案されているシックハウス対策、長寿社会で重要になる睡眠の最新研究成果に関して述べます。

その中で住宅メーカーの果たすべき役割や期待に関して提案を行いたいと考えています。

スケジュール

13:00～13:10	開会あいさつ	
13:10～14:20	特別講演「2030 年の住まいと暮らし－ハウスメーカーへの期待－」	(70 分)
14:20～14:45	環境行動計画「エコアクション 2020」の進捗報告	(25 分)
14:45～15:00	(休 憩)	
15:00～16:40	事例発表	
	(1) 旭化成ホームズ株式会社	(25 分)
	「『まちもり [®] 』計画 ～ 都市の住まいにおけるエクステリア～」	
	(2) 大和ハウス工業株式会社	(25 分)
	「スマートコミュニティの取り組みについて」	
	(3) ミサワホーム株式会社	(25 分)
	「パッシブクーリングを意図した街区における効果検証」	
	(4) 積水ハウス株式会社	(25 分)
	「COP 23 参加報告---積水ハウスの取り組み」	
16:40～16:45	閉会あいさつ	
16:45	閉会	

主催：一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会

講演者紹介

田辺 新一 氏 (早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授・工学博士)

〔略歴〕 1958年福岡県生まれ。専門は建築環境学。快適性と省エネルギーのバランスに興味を持つ。1982年早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学大学院修了、工学博士。1984～86年デンマーク工科大学暖房空調研究所研究員。1992～93年カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所研究員。1992～99年お茶の水女子大学生活科学部助教授。1999年早稲田大学理工学部建築学助教授。2001年から同大学教授。米国暖房冷凍空調学会フェロー。主な著書に「住環境再考」、「ゼロ・エネルギーハウス」(2016、2017年、萌文社)など。

お申し込み・お問い合わせ

お申し込み 下記の「環境シンポジウム参加申込書」にご記入のうえ、FAXにて送信下さい。尚、定員(250名)を超えた場合は、お断りさせていただく場合がございます。
テキスト代 1,000円
お問い合わせ 一般社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
TEL (03)5280-3124 FAX (03)5280-3127
E-mail jyutaku@purekyo.or.jp

すまいるホール ご案内図



一般社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局 行

FAX (03)5280-3127

「環境シンポジウム参加申込書」

平成 29 年 11 月 30 日 (木) までに FAX して下さい

会社名 (団体名)		TEL	
氏名	所属・役職		

一般社団法人プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-3-13 M&Cビル5階